**リオデジャネイロ政治・経済（２０１４年１２月）**

**１．政治・社会**

1. 政治

次期リオ州議会議員就任はピシアーニＰＭＤＢリオ支部長が濃厚

（５日　オ・グローボ紙）

パウロ・メーロ現リオ州議会議長（伯民主運動党：ＰＭＤＢ）と次期議長の席を争っていたピシアーニＰＭＤＢリオ支部長（リオ州議会議員、過去に４度同州議会議長に当選）は、ＰＲ、ＰＲＢ、ＰＣｄｏＢなどの政党からの支持を取り付け、議長当選の可能性を高めた。州議会議員による投票は２０１５年２月２日に行われる。

ＰＴリオ支部、ＰＴ党員による次期ペザォン州政権での公職就任禁止を決定

（８日　オ・グローボ紙）

　７日、ＰＴ（労働者党）リオ支部は幹部による投票（３２対２８）により、党員による次期ペザォン（ＰＭＤＢ）政権での公職への就任を党支部として認めない旨決定した。同州政権において２０１３年までは連立関係にあったＰＴとＰＭＤＢは、２０１４年のリオ州における選挙において、各党からの候補の擁立等を巡って対立を深めていた。

パエス・リオ市長、自身の後継候補にペドロ・パウロ議員を正式に指名

（２２日　オ・グローボ紙）

　現職のエドゥアルド・パエス・リオ市長（ＰＭＤＢ）は２０１６年のリオ市長選に立候補する自身の後継者として、ペドロ・パウロ連邦下院議員（ＰＭＤＢ）を正式に指名する旨を発表した。

1. 社会

リオ州のデング熱発症件数、前年比９７％減と発表（７日　オ・グローボ紙）

　保健省が１４３８都市で行った調査（ＬＩＲＡａ）によると、同期間（１月～１１月１５日）での比較で、２０１４年のブラジル全国でのデング熱の発症件数は前年比６１％減（約１４０万件→約５７万件）となった。リオ州は９７％減と、全国で最も高い数値を達成した。

ＵＰＰ設置地域における犯罪率低下を確認（１０日　オ・グローボ紙）

　ＵＰＰ（ファベーラ（スラム街）に設置される警察官の常駐施設）設置３３カ所で行われた、公安院（ＩＳＰ）による調査によれば、最初のＵＰＰ（ドナ・マルタ地区）が設置された２００８年から２０１４年（第一期）にかけて（故意の）殺人事件は６５．５％、警察の作戦による死者は９０．７２％減少した。また、麻薬の摘発件数は２６４．４％、現行犯逮捕は２４６．２％上昇した。統計上での状況改善の一方で、ＵＰＰで働く警察官の勤務環境等の改善や社会プログラムの充実を求める専門家による意見もある。

リオ市はオリンピック期間中に３日分の休日を設ける意向

（２４日　オ・グローボ紙）

　エドゥアルド・パエス・リオ市長の発言によれば、市はオリンピック開催期間中となる２０１６年８月に、同イベントが市に与える影響を抑えるため、休日を新たに３日設ける方向で各方面と調整中であるとのことである。現時点で設置が見込まれているのは、開会式の行われる８月５日である。その他、オリンピック・パラリンピック委員会関係者専用レーンを設けるなどの交通整理も行う。

サンタ・テレーザの路面電車の工事が再び延期（２６日　オ・グローボ紙）

　リオ州文官局の発表によれば、当初２０１４年の６月を予定していた、リオ市サンタ・テレーザ地区の路面電車の一部区間の完成は、現在２０１５年末の見込みとなっている。同路面電車のテストは２０１４年５月に、路面での試験運転は同年８月に始まっていた。かつて観光スポットであった同路面電車は２０１１年８月２７日に発生した６人の死者を伴う脱線事故以来運転を停止している。

ファベーラ・マレ地区の伯陸軍駐在は２０１５年６月までに延期

（３１日　オ・グローボ紙）

　治安創設部隊（ＵＰＰ）の設置を目的とし、２０１４年４月から同地区に駐在している伯陸軍は、予定されていた同年１２月の撤退時期を２０１５年６月に延期した。連邦政府とリオ州政府の間でのかかる合意は３０日、ブラジリアにおいてペザォン州知事と担当各閣僚によって結ばれた。陸軍は２０１５年３月まで現在の規模で駐在し、それ以降６月までにその数を漸減させる。進駐当初、陸軍は２０１４年７月までの駐在を予定していたが、都度延長の手続きを繰り返していた。

**２．経済**

（１）経済一般

２０１２年のリオ州ＧＤＰ、前年比１．９％増の５，０４２億レアル

２０１４／１２／１２

出典は、ブラジル地理統計院（ＩＢＧＥ）及びリオ州政府である。国全体のＧＤＰに占める州別の割合は、多い順に、サンパウロ州（３２．１％）、リオ州（１１．５％）、ミナス州（９．２％）であった。また、リオ州の１人当たりＧＤＰは前年比８．３％増の３万１，０６５レアルであった。なお、２０１３年の推定値としては、リオ州のＧＤＰは前年比２．１％増の５，７６０億レアル、国全体のＧＤＰに占める割合は１１．３％、１人当たりＧＤＰは前年比１３．３％増の３万５，１８９レアルであった。

（２）石油・天然ガス・石油化学・バイオ燃料

ムーディーズ、ペトロブラスの単独ベース債務格付を「ｂａａ３」より１ランク下の「ｂａ１」へ引き下げ　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　２０１４／１２／４

　要因は、今回のスキャンダルによって、同社のガバナンス能力不足が明らかになったこと、また、それによる投資家の損失を回避する力が同社になかった為であると考えられる。なお、今回、昨年１０月に「Ｂａａ１」から「Ｂａａ２」（投資適格グレードの下から２番目）へ引き下げられた同社グローバルスケール債務格付には変更はなく、見通しも「弱含み（ネガティブ）」のままであった。

ペトロブラス、北東製油所（Ｒｎｅｓｔ）製油所（旧名、アブレウ・エ・リマ製油所）で石油派生品の生産を開始　　　　　　　　　　２０１４／１２／７

　これは３４年振りに新しく建設された製油所である。操業が開始されたのは第１フェーズ（生産能力は日量１１．５万バレル）で、製品は液化石油ガス、ナフサ、ディーゼル等である。但し、ガソリンは含まれていない。なお、第２フェーズ（生産能力はやはり日量１１．５万バレル）の予想工事完了時期は２０１５年５月であるが、総工費は当初予定の２０億ドルより既に１８５億ドルへ増大した。

ペトロブラス、株主に損失を与えたかどで、米国のWolf Popper LLP弁護士事務所に集団訴訟を起こされる　　　　　　　　　　　　　２０１４／１２／９

同弁護士事務所は、ペトロブラスが汚職と資金洗浄を行ったこと、そして偽情報を発表したことが明るみに出た結果、昨年９月以来、社債価格が４６％下落し、株価も今年年初以来２８．３％下落したとして、集団訴訟を起こした。

ペトロブラスの２０１３年第３四半期決算の発表は１１月１３日に続き、２度目の延期　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　２０１４／１２／１３

　ペトロブラスによると、理由は、１１月１３日以降、連邦警察によって様々な事実が明らかにされたためである。ペトロブラス経営審議会では、汚職による資産減価額に関する各委員の意見が一致せず、また、今後も新たなスキャンダルが出る度に資産額が減少していくと予想されることから、決算発表は今回も行われなかったと言われている。第３四半期決算は、監査会社であるプライスウォーターハウスクーパーズの承認の無いものが１月中に発表される見込みである。ただし、同社は第３四半期の生産量（国内は前期比６％増の日量２５３万バレル）、輸出量（同５９％増の日量４９万バレル）、輸入量（同２４％減の日量７１万バレル）、精製量（同１％増の日量２２０万バレル）、売上高（同７％増の約８８４億レアル）、負債額（９月末時点で、同８％増の約２，６１４億レアル）等の主要データは発表した。これらについてもプライスウォーターハウスクーパーズの承認は受けていない。なお、２０１５年、同社は投資を減少させる計画であり、市場で資金調達を行う予定はない。１２日、優先株株価は６．５６％安の１０．１１レアル（２００５年８月以来最低）、普通株株価は５．７７％安の９．４６レアル（２００５年１月以来最低）となった。なお、過去３カ月間に同社の時価総額は１，２８０億レアル減少した（１２月１２日時点の時価総額は１，２７０億レアル）。そして、サンパウロ証券取引所主要株価指数（ＩＢＯＶＥＳＰＡ）は３．７３％安となった。なお、米ドルは０．１１％高の２．６５１レアル（２００５年４月以来最高）となった。

ペトロブラスの株式売買、株価の暴落（１０％急落）により、一時停止

２０１４／１２／１６

　ペトロブラスの株式は、これで過去６営業日で２５％下落したことになる。同社の普通株は９．９３％安の８．５５レアル（２００４年９月以来最低）、優先株は９．１９％安の９．１３レアル（２００５年６月以来最低）で取引を終えた。要因は、汚職スキャンダル、第３四半期決算の再延期及び原油価格の下落であった。また、サンパウロ証券取引所主要株価指数（ＩＢＯＶＥＳＰＡ）は２．０５％安の４万７，０１８ポイント、米ドルは１．２８％高の２．６８５レアルとなった。

スタンダードアンドプアーズ、政府保証の無いペトロブラスの社債格付けを、「ＢＢＢ－」より、投機的グレードの「ＢＢ」へ引き下げる

２０１４／１２／１７

　但し、同社のグローバルスケール債務格付けはまだ投資適格グレードである。

リオ州では、原油価格の下落とペトロブラスの汚職問題により、今年、海運業だけで２，５００件の雇用が失われる見込み　　　　　２０１４／１２／２１

リオ州は、ＧＤＰの三分の一近くが石油産業によるものであることから、全国で最も悪影響を受ける見込みである。２０１４～２０１６年の石油産業の予想投資額は１，４３０億レアルで、投資の８５％がリオ州内で行われることになっている。現時点では、ペトロブラスは投資額をどれだけ減少させるかについてはまだ発表していないが、リオ州では既に労働者の給料の減額や解雇が始まっている。リオ州経済開発局によると、ペトロブラスのサプライヤーに対する支払いは既に滞り始めており、州経済に悪影響を与えつつある。

ペトロブラスの取引会社の一つであるエンジェヴィックス社（下記注１参照）、現反腐敗法施行１カ月後の２０１４年２月、ユウセフ闇ドル換金業者に送金を行ったことが判明　　 ２０１４／１２／２６

それは領収書によって証明されており、同社は何らかの制裁を受ける見込みである。制裁の種類としては、活動停止、資産没収、巨額の罰金の他、強制的な解体がある。

注１：エンジェヴィックス社－関連会社のエコヴィックス社は、２０１３年１０月より日本連合（三菱重工（内５０％）、今治造船、名村造船、大島造船、三菱商事）が３０％を出資する造船会社である。

米国ニューヨーク州プロヴィデンス市、ペトロブラスとその役員に対して訴訟を起こす　　　 ２０１４／１２／２６

　同市職員年金基金はペトロブラスの社債を１００万ドル以上を購入していたが、同社の汚職により、その６０％を失ったとのことである。

欧米の投資家、ペトロブラスに変革を要請　　　　　　２０１４／１２／３１

　ペトロブラスの社債、株等に計１兆ユーロを投資している欧米投資家１０グループは、今後、今回のような汚職からペトロブラスを守ることが可能となるメカニズムが構築出来るよう、ペトロブラス経営審議会に、同社内に独立したワーキンググループを設立することを文書で提案した。目的は、会社の決定において利益の対立が起きることを避け、独立した経営モデルを構築することである。

連邦政府のリオ州政府に対する石油ロイヤルティーの支払いが遅延

２０１４／１２／３１

　連邦政府は、１２月２９日時点でリオ州政府に３億５，０００万レアルの石油ロイヤルティー未払い金がある（当館注：その後、連邦政府は２億５，１００万レアルのみリオ州政府に支払った）。同州政府によると、州の石油ロイヤルティー収入は、原油価格が２０１４年６月以来５０％近く低下したこと、並びにペトロブラスの汚職スキャンダルが起きたことにより、今後、大幅に減少する見込みである。

（３）鉱物資源

ヴァーレの２０１５年の予定投資額は、２０１４年より２６．３％少ない１０１．７億ドル　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ２０１４／１２／３

　投資額の削減はこれで４年連続となる見込みである。投資額は今後も徐々に減少し、２０１８年には５０億ドルにまで下がると予想されている。同社によると、その要因の一つはレアル安である。２日の同社株価は２．５７％安であった。

ヴァーレ、自社で保有するヴァーレマックス（鉄鉱石４０万トンの輸送能力を持つ超大型船）を１５隻売却する意向　　　　　　　　 ２０１４／１２／１７

　これにより、最大２０億ドルの資金調達が可能となる見込みである。同社は、鉄鉱石価格が低いことから、手持ち資金を増大させる意向である。なお、同社は９月にもヴァーレマックス４隻を中国企業へ売却し、同時に２５年間の賃貸契約を締結している。同社は、今度２年間は困難な時期が続くものの、２０１７年には状況は好転すると予想している。

（４）鉄鋼

特になし。

（５）その他

２０１２年のリオ市民の平均通勤時間は５０分　　　 ２０１４／１２／１２

　ちなみに、２００３年は４３分であった。これはサンパウロ市民の４７分より長い（２００３年は４１分）。

リオ市で進行中ないしは開始間近の巨大インフラプロジェクトは２８件

２０１４／１２／１４

総投資額は３６５億レアルである。プロジェクトは、予算の大きい順に、地下鉄第４号線建設（８８億レアル）、港湾地区活性化（４２億レアル）、オリンピック選手村建設（２９億レアル）、リオ国際空港改修（２０億レアル）である。

リオ都市圏の交通ラッシュは悪化　　　　　　　　　　２０１４／１２／１６

これは都市交通計画大綱による。２００３～２０１２年、乗用車・バイク使用者の割合は２５．８％から２８．５％へ上昇し、逆に公共交通機関利用者の割合は７４．２％から７１．５％へ低下した。

リオ産業界、水の調達に懸念　　　　　　　　　　　　２０１４／１２／１７

　リオ州工業連盟（ＦＩＲＪＡＮ）の、州内４８７社へのヒアリングによる「リオ州鉱工業の活動レベルと今後の見込み」に関する調査によると、水問題は既に輸送・交通、エネルギー等に続くインフラ懸案事項になっている。これは、パライバ・ド・スル川の主要貯水池の平均水量が過去３６年間で最低レベルとなっていることによる。調査によると、州内企業のインフラ問題は、深刻な順に、道路事情（６２％）、エネルギー（６１％）、都市公共交通（４５％）、ブロードバンド（３０％）、水（２７％）であった。

２０１４年末時点のブラジル時価総額ランキングは、上から、アンベヴィ（ビール会社。２，５６７億レアル）、イタウウニバンコ銀行（１，８３１億レアル）、ブラデスコ銀行（１，４５５億レアル。１３．６％増）、ペトロブラス（１，２７５億レアル）、ヴァーレ（１，０７６億レアル）

２０１４／１２／３１

　２０１３年は、アンベヴィ、ペトロブラス、ヴァーレ、イタウウニバンコ銀行、ブラデスコ銀行の順であった。

以上